

○ライフステージと福祉教育ポイント

時 期	幼 少 期	青 年 期	成 年 期	高 齢 期
ポイント	学校教育等で初めて"福祉"に触れる時期で、様々な人との出会い、ふれあい、体験を通して、地域や他者、自分自身について意識する	福祉、地域、他者、自分を知った上で、自分たちができることを考え、グループ形成等を通して、チームワーク、リーダーシップなどを学ぶ	社会人として、また、家庭生活の中から地域に対する問題提起をし、自分に合った活動を考え自発的に自らの能力を生かす	社会から引退したこの時期にもう一度地域を振り返り、余暇を生かした活動のあり方について考える
事業内容	体験プログラム	同世代、異世代などさまざまな人々との交流を中心として、地域における活動ネットワークを形成するプログラム	活動意欲に応じた学習の場、実践の場の提供を中心としたプログラム	学習の場の提供、活動支援を踏まえたプログラム

出典 「ふくしとちぎ」No.417（栃木県社会福祉協議会2008(平成20)年）から抜粋